

討論しない 議員と議会！

3月定例
議会中の
緊急報告

一部新聞にも報道された、三月九日から
の定例議会が、初日から羽田功議長代行
の議事運行で混乱し、現在停止状態であ
る。このことについて、緊急にお知らせいた
します。

三月定例議会が九日から開催されまし
た。樋口にして、任期中最後の定例議会
となります。本会議は、多数のマンモスも
傍聴する中、午後二時半より開会され、35
議題が一括上程され、村長の提案理由の説
明終了直後、樋口は議長代行に対し「議
事進行について」の発言を行いました。会
議規則第57条に規定された、議事に関す
る発言の権利。

ところが、羽田功議長代行はさか
ず「暫時休憩。樋口議員の発言は停止しま
す」と宣言し、樋口の発言を認めず、全議
員に対し協議会のため、「第一会議室に移動」
を示唆しました。

会議室に移った議長代行に対し、内容
も聞かぬまま、村民の代表である議員の
発言を認めなかつた理由を明らかにする
よう、強く迫りま
した。

最初は「理由は
言わない」とか、俺議
長代行の権限だ」と
いっていましたが、
最後に「あなたの
今までの議員活動
の中で、あなたの
発言で議会が混乱
したからだ」と述べ
ました。
しかし、樋口は

四年間の全議会を通じて、ひとことの暴
言もひとことのヤジも飛ばしたことは、
断じてありません。

むしろ、その質問や発言に対して当局
が窮したり、サポーター議員(複数)が大
声をだして樋口の発言をヤジって混乱さ
せたことは度々ありましたが、樋口自身
は、常にルールにそって発言してきました。

つまり、羽田功議長代行の発言は、全
く事実無根であり正当性がありません。
今回の顛末を専門家に聞いてみると、「こ
うして、議長の横暴」「職権の濫用」「議会
制民主主義の精神に反する」と評してい
ます。

議会とは 討論をする 場所です！

「ご存知のとおり、議員は、公選による村
民の代表であり、議場はその代表者によ
る多様な意見を、自由闊達に討論する場
所です。この発言の自由が保障されてこ
そ健全な民主主義が確立するのです。で
すから議会制民主主義といふのです。

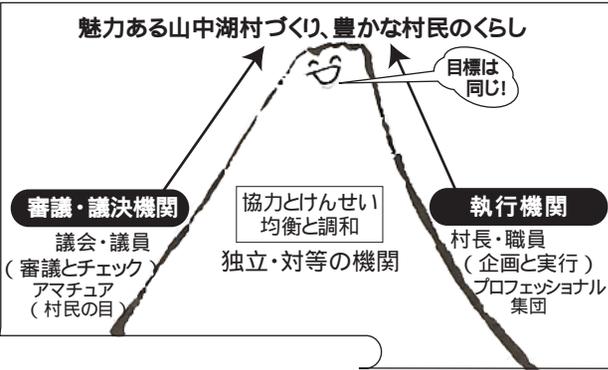
ところが、山中湖村議会の現状は、意に
そわない都合の悪い発言を封じ、執行部
や議員同士の「なれ合い」と「お仲間議会」
であり、これでは、議会の存在意義も議会
議員の役割も根本から問われます。
一体、誰のための何のための議会であ
り議員でしょうか？ 改めて古参議員た
ちの無責任さに驚きます。その結果が今
日の村行政の実態を生んだのです。

つまり、古参議員たちの、こ
そくで腹黒い議会運営、多数
という数の横暴、あまりにも
勉強不足の議会議員がふんぞり
返っている実態が、山中湖村の議
会を悪くしている原因だと四年
間の体験からつくづく思います。
健全な村政を築き上げるには、

まず、『談論風発』(活発に討論をするこ
と)な議会を取り戻すことが急務だと思
います。それには、各議員の資質と能力を、
見きわめることだと思えます。

いつまでもなく、議会は、執行機関と
は独立した審議・議決機関であり、執行
部に対する「チェック機関」であり、議員
はその構成員なのです。この自覚がなさ
すぎま

今後
議員を
志す者
も、ま
た選ぶ
側も、
この点
を決し
て忘れ
てほし
くあり
ません！



皆さんのご意見を お聞かせください

今回、羽田功議長代行が最初から「樋
口には発言をさせない」という暴挙は、中
立公平であるべき議長代行自らが議会
の品位を汚し、言論の自由を抑圧した重
大な責任問題です。対応を協議するた
めに議会運営委員会(羽田正男委員長)

を開きましたが、結局、樋口への明確な回
答ができず、午後五時が過ぎ自然閉議と
なりました。
その後、羽田正男委員長は、「地方自
治法に書いてある」と胸ポケットを叩いて
樋口にならば述べ、23日に明らかにする
といっていますが、議員の発言をはじめか
ら無視できる法律など、あるはずがあり

坂本健壽議長の「辞表」は存在した

議会初日の議員控室で、坂本健壽議長
の「辞表」の件が話題となりました。週刊
誌に羽田功議長代行は「辞表は出ていな
い」「日テレ報道は事実と異なる」とメン
トしています。

しかし、樋口が全議員の前で事実確認
をしたところ、羽田功議長代行は、確か
に議長から「辞表」を受け取ったことを
認めました。他に「辞表」の目撃議員もい
ません。

村の危機をどう乗り越えるか？

今、マンモス報道で山中湖の問題が取り
上げられています。内容は決して「名誉」
なことではありません。

山中湖村の住民にとって、また出身者に
とって、山中湖村が悪いイメージに伝わる
ことは、とてもつらく、せつないことであり
ます。

しかし、国民の貴重な税金である高額
な補助金を受けたわたし達山中湖村は、
全国民に対して「説明責任」があり、どの
ような疑問や質問にも、明快に堂々と回
答できなければなりません。

ところが、肝心な部分には回答を拒否
したり、隠蔽しようとしていたり、はたまた机
を叩いて逆切れし、挙句の果ては一方通行
を逆送して逃走するなど、村の代表であ
る前・現村長たちの行動は、全国民からは
強い疑いをもたれる結果となつてしまいま
した。

今回のことを中途半端に妥協すること
は、今後に悪しき前例を残すことになる
と考え、議長代行に対し「発言の撤回と
謝罪、そして樋口の発言を認めること」を
強く要求しています。
山中湖村の健全な議会を取り戻すた
め、皆さんのご意見をお聞かせください。

ます。
とすれば、羽田功議長代行自身が、週
刊誌の記者や村民に「ウン」をついたこと
は明らかであり、重大な責任問題です。
なお、坂本健壽議長は、12月定例議会
以後、「出初式」「成人式」「卒業式」、各
種会合や挨拶「等」の一切の行事に顔を出
しておらず、3月定例議会にも出席して
いません。

山中湖村のルールが、そのまま全国に通
じない。このあらわれで、わたし達村民は、
一日も早く真実を解明し、問題の根源を
解決し、素晴らしい村と
しての信頼を回復す
ることが何よりも大
切だと考えます。

ところが、樋口は、村
を混乱させ、悪くして
いる。という人たちが多
くいます。だったら、一
体何が混乱しているのか、
そこを真剣に考えたい
ものです。
その上で、「山中湖を
魅力ある村に再生しよ
う！」と、みんなで討論
していきたいと日々考
えています。

山中湖の調整池問題を取り扱っている、日本テレビの
「報道特捜プロジェクト・スペシャル」が、
3月26日(月)夜7:00~9:00の時間帯で、
全国放送されます(YBSテレビでも放送)。
テレビ番組案内の雑誌にも出ています

お知らせ